

# 医療費の抑制には、ジェネリック医薬品の利用促進サービスが効果的です

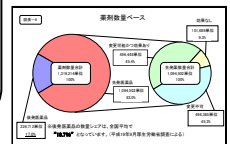
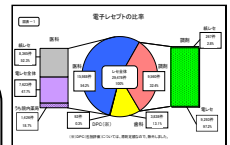
→「レセプト点検のオークス」が個人情報情報を徹底管理のうえ、業務をお引き受けいたします

厚生労働省は、「2023年度末までに、後発医薬品の数量シェアを全ての都道府県で80%以上とする」目標を掲げています

## 1. サービスの概要

### (1) 「薬剤費」の定性分析

- ・ 医科（院内薬局分）・調剤（調剤薬局分）の電子レセプトを対象
- ・ 医薬品の構造分析  
→後発医薬品へのシフトによる組合負担額削減のシュミレーション



### (2) ジェネリック利用促進通知の作成・送付（軽減額試算）

- ・ 保険者さまのご方針に基づいて通知対象者の選定  
自己負担削減額→500円以上を対象とする等  
特定疾病→精神疾患、癌を除く等  
年齢→40歳以上のみを対象とする等
- ・ 印刷・封入・封緘・投函等一切の業務のご用命を承ります

通知対象者の選定結果

削減額：4,680円

### (3) 継続的に削減効果を集計し、お知らせします

- ・ 算定は厳密かつ合理性のある方法で集計します  
→利用促進通知効果表（通知年月別・通知対象者別）を作成

利用促進通知効果表

通知年月	削減額	削減率
2023年1月	1,200円	0.5%
2023年2月	1,500円	0.6%
2023年3月	1,800円	0.7%
2023年4月	2,100円	0.8%
2023年5月	2,400円	0.9%
2023年6月	2,700円	1.0%
2023年7月	3,000円	1.1%
2023年8月	3,300円	1.2%
2023年9月	3,600円	1.3%
2023年10月	3,900円	1.4%
2023年11月	4,200円	1.5%
2023年12月	4,500円	1.6%
2023年合計	46,800円	1.9%

## 2. サービスの特徴

- (1) 保険者さまのご要望（ご予算）に合わせて、効率的な方法をご提案申し上げます
- (2) 削減効果は、継続的に調査・分析いたします
- (3) 組合員さまからのご質問にお答えできるよう、コールセンターを設置しております
- (4) 基本料金（対象レセプト×単価+実費）を申し受けます  
※初期システム設計費、（根拠不明な）成功報酬は頂戴いたしません

## 3. 削減効果事例

	A健康保険組合	B健康保険組合	C健康保険組合
年間削減効果額	<b>38,090,449円</b>	<b>11,180,612円</b>	<b>2,216,923円</b>
被保険者数	約63,000人	約15,000人	約6,200人
初回通知件数	5,406件	1,394件	1,380件
1年後に変更された件数 (変更率)	2,789件 (51.6%)	752件 (53.9%)	623件 (45.1%)